



API®

## 添加試薬 使用ガイド

Rev 2 202606

詳細は使用説明書をご確認ください。

PIONEERING DIAGNOSTICS

# API<sup>®</sup> 添加試薬リスト



品番	試薬名	包装単位		成分組成	劇物	SDS*	調製・準備方法**
		1本容量	本数				
70380	Zn (亜鉛末)	10 g	2	Zinc dust			C
70402	TDA	5 mL	2	Ferric chloride (iron content) 3.4 g H <sub>2</sub> O 100 mL		○	A
70422	VP 1	5 mL	2	Potassium hydroxide 40 g H <sub>2</sub> O 100 mL	○	○	A
	VP 2	5 mL	2	α-naphthol 6 g Ethanol 100 mL		○	
70442	NIT 1	5 mL	2	Sulfanilic acid 0.4 g Acetic acid 30 g H <sub>2</sub> O 70 mL		○	A
	NIT 2	5 mL	2	N,N-dimethyl-1-naphthylamine 0.6 g Acetic acid 30 g H <sub>2</sub> O 70 mL		○	
70542	JAMES	5 mL	2	R1 : HCl 1N 100 mL R2: Compound J 2183 (confidential) 0.66 g		○	B
70491	NIN	5 mL	2	Ninhydrin 7 g Methanol 40 mL Dimethyl Sulfoxide (DMSO) 60 mL		○	B
70492	PYZ	5 mL	2	Iron (II) chloride (FeCl <sub>2</sub> ) 1 g Preservative 6 g Ethylene glycol 40 mL Ethanol 60 mL		○	B
70493	ZYM B	5 mL	2	R1: Methanol 30 mL Dimethyl Sulfoxide (DMSO) 70 mL R2: Fast Blue BB (active ingredient) 0.14 g		○	B
70494	ZYM A	8 mL	2	Tris(Hydroxymethyl)Aminomethane 25 g Hydrochloric acid (37%) 11 mL Sodium Lauryl Sulfate 10 g H <sub>2</sub> O 100 mL		○	A
70510	BCP	5 mL	1	Bromocresol purple 0.02 g H <sub>2</sub> O 100 mL			A
70520	EHR	5 mL	1	Paradimethylaminobenzaldehyde 0.9 g HCl 6.67 g Ethanol 82 mL H <sub>2</sub> O 11.3 mL		○	A
70530	XYL	5 mL	2	Xylene	○	○	A
70562	FB	5 mL	2	R1: Sodium Lauryl Sulfate 7.5 g Methanol 30 mL Dimethyl Sulfoxide (DMSO) 70 mL R2: Fast Blue BB (active ingredient) 0.14g		○	B
70572	VP A	5 mL	1	Potassium hydroxide 20 g H <sub>2</sub> O 100 mL	○	○	A
	VP B	5 mL	1	α-naphthol 12 g Ethanol 100 mL		○	

表示量は、使用する原材料の力価に応じて調製されます。

\* SDSは当社ウェブサイトからダウンロード可能です。



<https://www.biomerieux-jp.net/sds>

\*\* 使用方法の番号(A, B & C)は、次ページ以降の使用方法番号とリンクしています。

# API<sup>®</sup>添加試薬 調製・使用方法 - 1



## 使用上の注意

- 試薬が皮膚、眼、服に触れないようにしてください。
- 有効期限が過ぎた製品は使用しないでください。
- 各試薬は試薬のパッケージに記載された**保管温度に従い、暗所で保管**してください(Zn試薬(亜鉛末)を除く)。
- 各試薬には**開封後使用期限**があります(XYL試薬を除く)。試薬の開封日をボトルまたはアンプルのラベルに記入して、開封後使用期限を管理してください。なお、開封後使用期限は、**試薬の有効期限を超えない**ように注意してください。
- 使用前に、包装および構成試薬に破損がないことを確認してください。
- **室温に戻してから**使用してください。
- 使用後の試薬は**速やかに冷蔵庫に戻**してください。



## 添加試薬を適切に使うためのヒント

- 溶液を滴下用ボトルに移すタイプの試薬は、**移す前に試薬の色調を確認**する(参考：p6)。
- ピペットで溶液を滴下用ボトルに移すタイプの試薬では、移すときには**完全に乾燥したピペット**を用いる。
- ドロッパーキャップ付きのアンプルの取り扱い：
  - 滴下作業後にアンプルを戻すときにキャップから試薬がこぼれたり手につかないように、アンプルを逆さまにする前にキャップを握って**余剰液滴を吸い戻す**。
- JAMES試薬、ZYM B試薬、FB試薬の調製：
  - **調製10分後に**少量の液をとって、**色調を確認**する。
- 滴下用ボトルの蓋は**しっかり締める**。
- 使用後は速やかに**冷蔵庫に戻す**。
- 光に敏感な試薬の取り扱い：
  - 滴下用ボトルへ移した後は冷暗所で保管し、**使用時のみ取り出す**。
  - 遮光ボトルでない場合には、**アルミホイルで包んで遮光**する。

# API<sup>®</sup>添加試薬 調製・使用方法 - 2



## 試薬アンプルの開封方法

1. アンプルプロテクターにアンプルを差し込みます(図1)。
2. アンプルプロテクターに入ったアンプルを片手で垂直位置に持ちます。(白いプラスチックキャップが上にくるように持ちます。)
3. キャップを出来る限り、下方向に押し込みます。
4. アンプルのキャップの斜面部分に親指を添え、先端が反るように親指を添えた手を矢印方向に押しとアンプルの先端が折れます(図2 矢印)。
5. アンプルプロテクターからアンプルを外します。



## A. ドロPPERキャップ付き試薬アンプルの調製と使用

1. 試薬アンプルの開封方法 (p.4)に従いアンプルを開けます。
2. 滴下用ボトルの内蓋を開けます(図A1)。
3. 先端を折ったアンプルを逆さにしてドロPPERキャップの先端を滴下用ボトルに入れます。
4. アンプルの蓋の斜面部分に親指を添えて、ゆるやかに親指を押し、試薬を滴下用ボトルへ滴下します(図A2)。
5. 調製した試薬1滴を滴下します。
6. 滴下後はしっかりとボトルを閉め(図A3)「保管条件」に従って保管します。



XYL試薬には滴下用ボトルはありません。ドロPPERキャップから直接滴下します。



# API<sup>®</sup>添加試薬 調製・使用方法 - 3



## B. ドロッパーキャップのない試薬アンプルの調製と使用

1. 試薬アンプルの開封方法 (p.4)に従ってアンプルを開け、注意深くアンプルの蓋を外します (図B1)。
2. 乾燥したピペットを使ってアンプルの溶液を取り、滴下用ボトルへ加えてしっかり蓋を閉めます(図B2)。

### JAMES試薬、FB試薬、ZYM B試薬について

- 乾燥した有効成分を溶解するため、滴下用ボトルを注意深く振って混合します(図B3)。
- 有効成分が完全に溶解するまで、約10分待ちます。



JAMES試薬は淡黄色の場合のみ使用可能です。JAMES試薬が、調整後ピンク色を呈した場合、ピンク色が完全に消失するのを待ってから試薬を使用してください。

3. 調製した試薬1滴を滴下します。
4. 滴下後はしっかりとボトルを閉め「保管条件」に従って保管します。



試薬 アンプル 滴下用 ボトル

図B1



図B2



図B3



## C. Zn試薬(亜鉛末)の使用

1. ボトルを開けます(図C1)。
2. 蓋に固定されたスパチュラ(図C2 矢印)を使って粉末を一定量(約2-3 mg)分取し、反応させるカップへ加えます。
3. 使用後はしっかりとボトルを閉め「保管条件」に従って保管します。

図C1



図C2



# API<sup>®</sup> 添加試薬

## 保管条件や取り扱いの注意点



品番	試薬名	保管条件	試薬開封後の 使用期限	試薬の感受性		試薬の色調 (特記事項)
				光	水分 空気	
70380	Zn (亜鉛末)	8 ~ 30 °C	1ヵ月			-
70402	TDA	2 ~ 30 °C	1ヵ月			透明な液体 - オレンジがかった黄色
70422	VP 1	2 ~ 30 °C	1ヵ月			透明な液体 - 無色
	VP 2	2 ~ 8 °C	1ヵ月	◎		透明な液体 - 明るいピンク* * 色合いは時間の経過とともに濃くなります。
70442	NIT 1	2 ~ 30 °C	1ヵ月			透明な液体 - 無色
	NIT 2	2 ~ 8 °C	1ヵ月			透明な液体 - 無色
70542	JAMES	R1: 2 ~ 30 °C R2: 2 ~ 8 °C	1ヵ月	◎	●▲	R1: 透明な液体 - 無色 R2: 調製前: 白色 - 黄色、調製後: 淡黄色
70491	NIN	2 ~ 8 °C	1ヵ月	◎	▲	透明な液体 - 黄色
70492	PYZ	2 ~ 8 °C	1ヵ月	◎	▲	透明な液体 - 淡黄色
70493	ZYM B	2 ~ 8 °C	2週間	◎	●▲	R1: 透明な液体 - 無色 R2*: 調製後: 黄色 - 琥珀色 ** オレンジ色に変わったらすぐに廃棄してください。
70494	ZYM A	2 ~ 30 °C	1ヵ月			透明な液体 - 無色 - 振った後に泡立つ*** *** 2 ~ 8 °Cでは沈殿物ができる場合もありますが、 試薬の性能に影響はありません。室内に戻すと沈殿はなくなります。
70510	BCP	2 ~ 30 °C	1ヵ月			紫色の液体
70520	EHR	2 ~ 8 °C	1ヵ月			透明な液体 - 淡黄色
70530	XYL	2 ~ 8 °C	-			透明な液体 - 無色
70562	FB	2 ~ 8 °C	2週間	◎	●▲	R1: 透明な液体 - 無色 R2*: 調製後: 黄色 - 琥珀色 ** オレンジ色に変わったらすぐに廃棄してください。
70572	VP A	2 ~ 30 °C	1ヵ月			透明な液体 - 無色
	VP B	2 ~ 8 °C	1ヵ月	◎		透明な液体 - 薄い黄色から薄いピンク色* * 色合いは時間の経過とともに濃くなります。



- ◎ : 滴下用ボトルに移す前に試薬の色調を確認する。滴下用ボトルへ移した後は冷暗所で保管し、使用時のみ取り出す。ボトルが透明または半透明である場合には、アルミホイルで包んで遮光する。
- ▲ : 試薬を滴下用ボトルに移す際は、乾燥ピペットを使用し、容器の蓋をしっかりと閉める。
- : 調製から10分後に、少量を乾燥ピペットで取って、色味を確認してから使用する。

# API<sup>®</sup> 添加試薬

## 各APIキットで使用する添加試薬



品番 (キット)	品番 (添加試薬) 試薬名 キット名	70380	70402	70422	70442	70542	70491	70492	70493	70494	70510	70520	70530	70562	70572
		Zn 亜鉛末	TDA	VP 1 VP 2	NIT 1 NIT 2	JAMES	NIN	PYZ	ZYM B	ZYM A	BCP	EHR	XYL	FB	VP A VP B
20050	API 20 NE	●			●	●									
10100	API 10 S		●		●	●									
20100	API 20 E	●	●	●	●	●									
20701	RAPID 20 E			●		●									
32400	ID 32 E					●									
32700	RAPID ID32 E					●					●				
10400	API NH					●			●						
20800	API CAMPY				●		●							●	
20300	API 20 A										●	●	●		
32300	RAPID ID 32 A				●	●								●	
20500	API STAPH			●	●				●	●					
32500	ID 32 STAPH				●									●	●
20600	API 20 STREP			●			●		●	●					
32600	RAPID ID 32 STREP						●							●	●
10300	API LISTERIA								●						
20900	API CORYNE				●			●	●	●					
25200	API ZYM								●	●					



各キットの使用方法は、使用説明書をご確認ください。



PIONEERING DIAGNOSTICS